

2018年7月5日卓話

所信表明 2018-2019 年度会長・岩澤あゆみ



インスピレーションになる

茅ヶ崎RCとしての目標

1. LOVE&PRIDEの醸成
2. 茅ヶ崎RCとしての魂
3. ロータリーの本質を学ぶ
4. 会員相互が尊敬しあい、高め合う
5. 誇りと魂を土台にした奉仕活動
6. これからのクラブの未来を描く



インスピレーションになる

BE THE INSPIRATION に向けて

1. 卓話の充実

会員同士の相互理解を深めるために、会員による卓話を充実させます。

また、例会を楽しいものにし、会員が自然に出席したくなるような例会を目指します。



インスピレーションになる

BE THE INSPIRATION に向けて

2. 委員会活動の活発化

会員同士の友情と親睦を深めるとともに、活動を通じて得られる学びと経験こそがロータリアンとしての礎になると思います。

真の自覚を呼び起こす。そのような活発な委員会活動をクラブ運営の柱にします。



インスピレーションになる

BE THE INSPIRATION に向けて

3. 研修の充実・ロータリー研究会の開催

茅ヶ崎RCに脈々と受け継がれてきた「魂」。何が起ころうと、どんな時代であろうと、その根底にあるロータリーの理想や魂は失くしてはなりません。会員一人ひとりが研鑽を重ねていくことこそが、ロータリアンたる姿です。



インスピレーションになる

BE THE INSPIRATION に向けて

4. クラブ戦略計画の策定

人が想像できることは必ず実現させることが出来る。仲間と共に、茅ヶ崎RCの未来を語りましょう。夢を語りましょう。そして、茅ヶ崎RCのこれからの描きましょ。それこそが「これまでもこれからも」誇りあるクラブのために大切なことであると考えます。



インスピレーションになる

BE THE INSPIRATION に向けて

5. 新たなる挑戦
(地区補助金申請・国際奉仕)

大きなことに挑戦しようとするインスピレーションをクラブに根付かせましょ。心の奥底にあるロータリアンとしての「真の自覚が呼び起こされるような」新しい奉仕への挑戦をしていましょ。



インスピレーションになる

BE THE INSPIRATION に向けて

6. 親睦を深め、
会員同士が尊敬しあい、
高め合うクラブづくり。

茅ヶ崎RCの会員であることの誇り。会員のロータリーや互いへのLOVE&PRIDEが醸成されるようなクラブ運営に努めます。



インスピレーションになる

BE THE INSPIRATION に向けて

友ありて 語り合い 手を取りて 未来を見る

覇気あれ 我がクラブ 茅ヶ崎ロータリー

(作詞・作曲 河本啓伸)





BE THE INSPIRATION に向けて

「覇気あれ我がクラブ」の歌詞にあるように、「今」こそ、手を取り合いながら語り合い、未来を描きましょう。

これまでも、これからも。
覇気あれ、茅ヶ崎ロータリー！！



手に手つないで

～これまでもこれからも。誇りあるクラブ・真のロータリアンを目指して～

「ロータリーの水準と理想を高く掲げることの重要性は、いくら強調しても強調しすぎることはありません。ロータリーの倫理の大空に希望の星が高らかに輝かなければなりません。希望の星が高すぎるということは、まずありえないでしょう。どこからでも目指して努力できるくらいの高さであることを私は願っています。」(ポール・ハリス)

私が茅ヶ崎RCに入会し、会員となって初めて「手に手つないで」を歌った時、私は静かに涙が出ました。ロータリアンの家族としてもうそれは何年も歌ってきたこの歌を、ついに自分自身がロータリアンとして歌っているのだと。魂が震えると同時に、心が引き締まる想いをしたことを、今でも鮮明に覚えています。小さなころから私にとって、この茅ヶ崎RCは第2の家族でありました。憧れのクラブ。憧れのロータリアン。そのバッチを今、胸にしている。「真のロータリアン」とは何なのか。バッチを胸にする喜びや誇り以上に、その重みを常に感じてきました。

いま、茅ヶ崎RCはまさに転換期にあるかもしれません。でもそれは、進化し成長し続けるために、避けては通れない「時」なのだと思います。目の前に大きな山が立ちはだかった時、人は、どうやったら登れるかを考えるでしょう。それと同様に組織というのもまた、「今」何をすべきかを考え、行動し、前に進み続けるべきなのだと思います。脈々と受け継がれてきた茅ヶ崎RCとしてのスピリットは守りながら、必要な変化を捉えて進化をすることで、これまでもこれからも、一人ひとりのロータリアンが成長し、凜としたクラブであり続け、我々ロータリーのお役目を果たしていかなければなりません。会員の半分がまだまだロータリアン歴が浅い会員で構成される今こそ、これまで茅ヶ崎RCを守り育ててきた先輩方とともに、手に手つないで、茅ヶ崎ロータリークラブのあるべき姿を未来に向けて描いていきましょう。

昨年6月、RI理事会は「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」というビジョン声明を採択しました。そして、バリー・ラシンRI会長は、2018-2019年度のテーマを「Be the Inspiration インスピレーションになろう」と掲げられました。そこには、任務などではなくインスピレーションから心の奥底にあるロータリアンとしての真の自覚を呼び起こそうとされています。ロータリアンの魂で、よりよい世界へ切望すれば、そのより良い世界を作ることは可能であると。だからこそ、心の奥底にある真の自覚を呼び起こそうと。

会員一人ひとりが、茅ヶ崎RCだけでなく、家庭や企業、地域社会の中で、真の自覚をもって自らがインスピレーションになるべく、本年度は「手に手つないで～これまでもこれからも。誇りあるクラブ・真のロータリアンを目指して～」をクラブスローガンとして活動して参ります。

①卓話や例会の充実

→会員同士の相互理解を深めるために、会員による卓話を充実させます。また、例会を楽しいものにし、会員が自然に出席したくなるような例会を目指します。

②委員会活動の活発化

→会員同士の友情と親睦を深めると共に、活動を通じて得られる学びと経験こそがロータリアンとしての礎になると思います。真の自覚を呼び起こす。そのような活発な委員会活動をクラブ運営の柱にします。

③研修の充実・ロータリー研究会の開催

→茅ヶ崎RCに脈々と受け継がれてきた「魂」。どんなに波が荒く、予定していた航路を変更しなければならなくなったとしても、必ず目指す港に向かって進まねばならず、その根底にあるロータリーの理想や魂は失くしてはなりません。会員一人ひとりが研鑽を重ねていくことこそが、ロータリアンたる姿です。

④クラブ戦略計画の策定

→人が想像できることは必ず実現させることが出来る。仲間と共に、茅ヶ崎RCの未来を語りましょう。夢を語りましょう。そして、茅ヶ崎RCのこれからを描きましょう。それこそが「これまでもこれからも」誇りあるクラブであるために大切なことであると考えます。

⑤新たな挑戦（地区補助金申請・国際奉仕）

→脇洋一郎第2780地区ガバナーも、地区補助金などを使った奉仕の実践への支援強化を掲げられています。また、バリー・ラシンRI会長も、大きなことに挑戦しようとするインスピレーションをクラブに根付かせようとお話されています。心の奥底にあるロータリアンとしての真の自覚を呼び起こされるような、新しい奉仕への挑戦をしていきます。

⑥親睦を深め、会員相互が尊敬しあい、高め合うクラブづくり

→茅ヶ崎RCへの愛。会員相互の愛。茅ヶ崎RCの会員であることの誇り。会員のロータリーへのLOVE & PRIDEが醸成されるようなクラブ運営に努めます。



友ありて 語り合い 手を取りて 未来(あす)を見る
覇気あれ 我がクラブ 茅ヶ崎ロータリー

(作詞・作曲 河本啓伸)

我らの仲間 河本会員が作詞作曲された「覇気あれ我がクラブ」の歌詞にあるように、「今」こそ、手を取り合いながら語り合い、未来を描きましょう。これまでもこれからも、覇気あれ 我がクラブ！！1年間、どうぞよろしく願いいたします。

2018年7月5日卓話

所信表明 2018-2019 年度幹事・中山富貴子



昨年に引き続き今年度の幹事を仰せつかりました中山です。今年度を迎えて新たな気持ちで1年を頑張りたいと思います。単年度制と思い昨年の7月を通り越した時点で今年度の幹事を予想しませんでした為、また改めて以前渡された幹事の仕事を読み返しました。

会長の秘書となりクラブの管理運営を円滑にするために援助することに努めます。会長の思いがクラブ会員全員に届くようにサポートします。また親睦をメインとしたクラブ管理運営委員会や奉仕プロジェクト委員会の計画する行事がスムーズに進むよう情報の共有、会員への伝達に心がけるつもりです。

RI会長のテーマは毎年変わります。今年度は「インスピレーションになろう」とRIバリー・ラシン会長はおっしゃっています。ひらめきを持って変化をもたらした新たな奉仕に結びつけることを目指す。ロータリーの目的は奉仕の実践と考えます。

岩澤会長の会長方針「誇りあるクラブ・真のロータリアンを目指して」の通り、クラブメンバーひとりひとりがロータリアンとしての自覚と誇りを持ち謙虚に学び会員同士が尊敬し高め合い活気ある楽しい茅ヶ崎ロータリークラブとなるべく、岩澤会長の意向に添い、頑張っていきたいと思っています。

ロータリアンとしての自覚とは、自分のことだけでなく他人のことを思いやることのできる寛容性や自分と違うものを認め受け入れ、お互いを理解し、影響し合うことのできる柔軟性を持つことが大切と自戒します。どのような評価を受けるか、ではなく、今を自分なりにどのように精一杯活動できるかを頑張りたいと思います。茅ヶ崎初の女性会長と共にクラブ会員全員の喜びや楽しみを少しでも増して行けるように努力して頑張りたいと思います。どうぞご協力の程、よろしくお願いたします。

昨年、先輩幹事が私が苦慮している時にお話してくださいました。「中山さん、悩む事はありません。この状況を受入、楽しみましょう」と。悩んでも解決にはならないのです。

もっと広い意味で物事を考えた方が得策が見えるということでした。心に刻みました。

会員全員が、毎回の例会を楽しみ、親睦を楽しみ、奉仕活動に積極的に参加し楽しむことの出来る茅ヶ崎ロータリークラブを目指して努力いたします。

茅ヶ崎ロータリークラブはとても素敵なクラブだと思います。伝統と格式を重んじて、ゲストをゲストとして丁寧を迎え入れることの出来るクラブです。他のクラブへメーキャップに行かれば、自分のクラブがどれほど過ぎらしいかを再確認出来ると思います。そういうクラブの一員であることを確認しましょう。

今年も一年頑張ります。どうぞ宜しくお願致します。



2018-2019 年度 幹事
中山富貴子